



交流によるスキルアップもジオパーク活動の強み

ジオパークの活動では、ほかの地域のジオパークと交流し、スキルアップを行うという大きな特徴があります。そのため、「新潟圏域ジオパーク意見交換会」が平成26年から毎年開催されており、今年3月には佐渡を会場に開催し、「糸魚川ユネスコ世界ジオパーク」「苗場山麓ジオパーク」「佐渡ジオパーク」の関係者総勢30人が参加しました。

今回の意見交換会では、「新潟圏域の災害から学ぶ地球活動を理解したリスクマネジメント」をテーマに掲げて、講演会、現地研修会、そして意見交換会を行いました。

ジオガイドツアーでは、登山や整備されていない海岸などを歩く場合があり、けがなどの心配があります。現地研修会では見どころの海岸で、どのようなリスクがあるか、そして今まで実際にあった事例などを踏まえて意見を出し合いました。

参加者たちは「持ち歩きしやすい緊急時の連絡先表が必要に感じた」

「救急セットの準備・見直しが必要」、とそれぞれのジオパーク活動が必要に感じる内容を出し合っており共有しました。



地元ガイドの案内を聞く参加者の皆さん

ジオパークの活動においては発生した問題をほかのジオパークではどのように取り組んでいるのか意見交換を適宜行うことができます。これによって自分の地域に必要な意見を持ち帰り生かすことができるのもジオパーク活動の強みです。

◎教育委員会社会教育課

ジオパーク推進室

(畑野行政サービスセンター内)

☎66-4160

トキ野生復帰にむけて 162



2018トキ野生復帰セミナー開催!

3月10日(土)、多摩動物公園(東京都日野市)でトキの野生復帰を理解してもらうためのセミナーを開催し、約200人の方に来場いただきました。

多摩動物公園のトキ飼育員から東京の動物園とトキとの関わりについて講演いただいたほか、環境省の首席自然保護官から佐渡での野生復帰の取り組みについて、タレントの大桃美代子さんから生物多様性についてのお話をいただきました。セミナー後半では「今後のトキ野生復帰について」をテーマとしたパネルディスカッションによる意見交換をしていただき、また、来場者から寄せられた質問に答えながらトキ野生復帰についての理解を深めていただきました。

◎産業観光部農業政策課

トキ保護係(トキ交流会館内)

☎24-6040

サドッキー・トキポストで大歓迎!!

3月26日(月)、両津港佐渡汽船ターミナルでモニュメントの「サドッキー」の除幕式が、28日(水)にはトキの森公園でご当地ポスト「トキポスト」の除幕式がそれぞれ行われ、佐渡を訪れる大勢の方々を歓迎し、トキの野生復帰を広くPRするために設置されました。

除幕式の後、サドッキーやトキポストの前で多くの方が記念撮影をする様子が見られました。



保育園児と一緒にトキポストの除幕式